

## 最高の「広陵祭」を創り上げよう

学校長 神戸秀巳

目的を意識させ、何をすべきかを明確にするため、生徒によく『誰のために？』『何のために？』と問いかけます。

『秦野高校にとって、最高の「広陵祭」を創り上げてほしい』が私の切なる願いです。あえて、「秦野高校にとって」としました。どういうことでしょうか？

「広陵祭」は生徒（ホスト）の他にお客様（ゲスト）がいて初めて成り立つものです。生徒が一生懸命やるだけでは、「自己満足」に過ぎません。日頃お世話になっている方々に感謝しつつ、感動を与え、満足いただいて、初めて「成功」と言えます。

ふだんから協力し合い、切磋琢磨してきた友人たちと力を合わせ、共通の目的にまい進するのです。いつも言っているように、「結果は出るものではなく、出すもの」です。「できない理由を考えるより、できる方法を考える」努力をしましょう。「やらされ感では人は動かないが、面白いと感じたとき、人は自ら動く」と心得て実践しましょう。

常々言っている「できることは何でもやる」「調子に乗っている」「動きの見える」秦野高校の姿を、ご来場いただいたお客様に精一杯お伝えしてください。皆さんなら必ずできます！！大いに期待しています。

最後に、広陵祭実行委員会の皆さんをはじめ、広陵祭の準備や運営に関わってくれた全ての人に深く感謝いたします。

ご来場いただきました皆様、ありがとうございます。秦野高校のはじける「元気」と皆様への「感謝の気持ち」を共有していただけたら、幸いです。